

資料編
調査に使用したニーズ調査票

1 「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査票」の見本

■就学前児童の保護者用

就学前児童の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、お父さん・お母さんの方で記入してください。（無記名です。氏名・住所の記入は必要ありません）
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 設問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある（ ）内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時～18時）で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ご回答の進捗に合わせて回答してください。特にご回答の進捗が滞る場合は次の設問にお進みください。

ご回答いただくまでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

北秋田市役所福祉課 こども福祉係 電話 62-6638

調査実施の趣旨とその目的

北秋田市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下『子ども・子育て支援新制度』といいます。）、の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただくことはありません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりと愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をともに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることがを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

※アンケートの結果は、今年度末までに市のホームページで公開する予定です。

1

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます

子育て家庭 → アンケート調査等により、子育て家庭の子育て支援の利用状況や利用希望等を把握 → 調査票を送付 → 調査票によって把握された利用希望等を考慮して、今後の計画を策定 → 市町村子ども・子育て会議等 → 市町村子ども・子育て支援事業計画（55年度計画） → 幼児期・学童期の学校教育・保育や地域の子育て支援について、「量の見込み（現在の利用状況・利用希望）」、「確保方針（確保の内容・実施時期）」を記載 → 計画に基づいて整備 → 幼稚園、保育所、認定こども園、小規模保育、家庭的保育等、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点事業、一時預かり、病児・病後児保育等

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

幼 稚 園： 満3歳から小学校就学までの幼児を教育し、年齢に相応しい適切な環境を整え、心身の発達を助長するための教育施設です。

保 育 所： 0歳から小学校就学までの乳幼児を持つ保護者の方が働いていたり、病気のために、昼間乳幼児の保育をすることができないとき、保護者に代わって保育する施設です。

認定こども園： 保育所及び幼稚園等における小学校就学前の子どもに対する保育及び教育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行う施設であり、親が働いていない・いないにもかかわらず利用できる施設です。

子 育 て： 子どもを育てることであり、目標とする状態をめざし持てる能力を伸ばすために、こころごからの両面に総合的に働きかけることです。

教 育： 教養を育てることであり、目標とする状態をめざし持てる能力を伸ばすために、こころごからの両面に総合的に働きかけることです。

2

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区はどちらですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 鷹巣地区 2. 合川地区 3. 森吉地区 4. 阿仁地区

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください）

平成 年 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。
※宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字で記入してください。
※お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください）

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（どちらか1つに○）

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にやっているのはどなたですか。
※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。
※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 幼稚園
6. 保育所 7. 認定こども園 8. その他（ ）

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えようと思う環境は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所
5. 認定こども園 6. その他（ ）

3

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日毎に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の時には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の時には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒ **問10へ**

⇒ **問9-1へ**
⇒ **問9-2へ**

問9-1 問9で「1」または「2」に○をつけた方うかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他()

問9-2 問9で「3」または「4」に○をつけた方うかがいます。
友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人・知人の身体的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他()

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。(どちらか1つに○)

1. いる/ある ⇒ **問10-1へ** 2. いない/ない ⇒ **問11へ**

問10-1 問10で「1. いる/ある」に○をつけた方うかがいます。
お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人
3. 近所の人 4. 子育て支援施設(地域子育て支援センター、児童館等)
5. 保健所・保健センター 6. 保育士
7. 幼稚園教諭 8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師 10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他 [前] ヘビーシッター

4

宛名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) **母親** (あてはまる番号1つに○) ※父子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就業)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就業)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒ (1)-1へ
⇒ (2)へ

(1)-1 (1)で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方うかがいます。
1週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間(就業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。
※就業日数や就業時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間程度

(1)-2 (1)で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方うかがいます。
家を出る時間と帰宅時間を、口内に数字でご記入ください。
※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 時台 帰宅時間 時台

(2) **父親** (あてはまる番号1つに○) ※母子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就業)で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就業)で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒ (2)-1へ
⇒ **問13へ**

5

(2)-1 (2)で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方うかがいます。
1週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間(就業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。
※就業日数や就業時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間程度

(2)-2 (2)で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方うかがいます。
家を出る時間と帰宅時間を、口内に数字でご記入ください。
※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 時台 帰宅時間 時台

問12 問11の(1)または(2)で「3. ~4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方うかがいます。 ⇒ **該当しない方は、問13へ**
フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

(1) **母親**

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就業)を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外)をやめて子育てで家事に専念したい

(2) **父親**

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就業)を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外)をやめて子育てで家事に専念したい

問13 問11の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方うかがいます。 ⇒ **該当しない方は、問14へ**
就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)
※該当する口内には数字をご記入ください。

(1) **母親**

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就業形態

① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)
② パートタイム・アルバイト等(①以外)
→1週当たり 日 1日当たり 時間台

6

(2) **父親**

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就業形態

① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)
② パートタイム・アルバイト等(①以外)
→1週当たり 日 1日当たり 時間台

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問14-1に示した事業が含まれます。

問14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 利用している ⇒ **問14-1へ** 2. 利用していない ⇒ **問14-5へ**

問14-1 問14-1~問14-4は、問14で「1. 利用している」に○をつけた方うかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。
※年間を通じて「定期的」にご利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園(通常の就業時間の利用) 2. 幼稚園の預かり保育(通常の就業時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
6. その他認可外の保育施設(託児所)
7. 訪問型保育(ヘビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
8. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
9. その他()

7

問14-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
※1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□内に数字でご記入ください。
※時間は、必ず(例)08時～18時のように24時間体制でご記入ください。
※問14-1で複数の事業に○をつけた方は、若い番号の事業についてお答えください。

(1) 現在
1週当たり □日 1日当たり □□ 時間台(□□ 時台～□□ 時台)

(2) 希望
1週当たり □日 1日当たり □□ 時間台(□□ 時台～□□ 時台)

問14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
(どちらか1つに○)
1. 北秋田市内 2. 市外

問14-4 問14で「1. 利用している」に○をつけた方うかがいます。
平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)
1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを見守っている
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病弱や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他()

問14-5 問14で「2. 利用していない」に○をつけた方うかがいます。
利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)
※「8」に○をつけた場合は、年齢を□内に数字でご記入ください。
1. 子どもの教育や発達のため、子どもの母親が就労していないなどの理由で利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他()

8

問15 すべての方うかがいます。
現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します(認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています)。
※利用料は市町村によって異なります。また、同じ事業でも、お子さんの年齢や実施場所などによって異なることがあります。
※北秋田市内で実施していない事業(*)については、近隣市町村のものを参考にしています。金額のない事業は、近隣でも実施がない事業です。

1. 幼稚園 (通常の就園時間利用) 【利用料:月額5,300円】	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) 【利用料:1回250円】
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) 【利用料:月額0円～68,000円】	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 【利用料:幼稚園 月額23,000円 保育所 月額0円～68,000円】
5. 小規模な保育施設(*) (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの) 【利用料:月額10,000円程度】	6. 家庭的保育(*) (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) 【利用料:→】
7. 事業所外保育施設(*) (企業が主に従業員用に運営する施設) 【利用料:月額12,000円程度】	8. 自治体の認証・認定保育施設(*) (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) 【利用料:月額29,500円～40,500円程度】
9. その他認可外保育施設 【利用料:月額12,000円】	10. 居宅訪問型保育(*) (ペーパードクターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) 【利用料:→】
11. ファミリー・サポート・センター(*) (地域住民が子どもを預かる事業) 【利用料:一時間500円程度】	

問15-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(どちらか1つに○)
1. 北秋田市内 2. 市外

9

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問16 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする中で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。(次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください)。
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。
※おおよその利用回数(頻度)を□内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)
1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回 程度
2. 利用していない

問17 問16のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。(あてはまる番号すべてに○)
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。
※北秋田市内では無料ですが、他の市町村では有料の場合があります)

1. 利用していないが利用したい
1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回 程度
2. すでに利用しているが利用回数を増やしたい
1週当たり 更に □回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □回 程度
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいと思わない

問18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。
※①～⑦の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。
※なお、事業によっては、北秋田市内および近隣市町村で実施されていないものもあります。

	A	B	C
①母親(父親)学級、母親学級、育児学級	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
②保健センターの学級・相談事業	はい	いいえ	はい
③家庭教師に関する学級・講座	はい	いいえ	はい
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい
⑥子育ての総合相談窓(市福祉課)	はい	いいえ	はい
⑦市発行の子育て支援情報誌「すくすく北秋田」など	はい	いいえ	はい

10

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。(1)(2) それぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
※希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。(例)08時～18時のように24時間体制でご記入ください。
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担(利用料:1日840円)が発生します。
※他の市町村では利用料金が異なります。また、北秋田市内では認定こども園のみ実施しています。
※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・友人による預かりは含まれません。

(1) 土曜日
1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯
3. 月に1～2回は利用したい } □□ 時台から □□ 時台まで

(2) 日曜・祝日
1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯
3. 月に1～2回は利用したい } □□ 時台から □□ 時台まで

問19-1 問19の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方うかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)
1. 月に数回仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため 4. 息抜きのため
5. その他()

問20 「幼稚園」を利用されている方うかがいます。
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号すべてに○)
※希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。(例)08時～18時のように24時間体制でご記入ください。
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担(利用料:1日840円)が発生します。
※他の市町村では利用料金が異なります。また、北秋田市内では認定こども園のみ実施しています。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい } 利用したい時間帯
3. 休みの期間中、週に数日利用したい } □□ 時台から □□ 時台まで

問20-1 問20で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方うかがいます。
毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)
1. 週に数回仕事が入るため 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親や、親族の介護や手伝いが必要なため 4. 息抜きのため
5. その他()

11

**宛名のお子さんの病気の療の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問21 平日の定期的な教育・保育事業を利用しているか答えた保護者の方(問14で「1.」に○をつけた方)にうかがいます。⇒ 利用されない方は、問22へ
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(どちらか1つに○)

1. あった ⇒ 問21-1へ 2. なかった ⇒ 問22へ

問21-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)
※それぞれの回数も口内に数字でご記入ください。(半日程度の場合も1日と数えます)

1年間の対応方法	回数
1. 父親が休んだ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
2. 母親が休んだ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
5. 病院・病後児の保育を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
6. ベビーシッターを利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
9. その他()	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日

⇒ 問21-5へ

※17. ファミリー・サポート・センターには、「病院・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問21-2 問21-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば病院・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
(どちらか1つに○)
※回数についても口内に数字でご記入ください。(1年間でお考えください)
※なお、病院・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料【利用料:1,000円】がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります(お子さんが入所している保育所で病院・病後児保育事業を利用する場合は無料です)。

1. できれば病院・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問21-3へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問21-4へ

問21-3 問21-2で「1.」で○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

⇒ 問22へ

12

問21-4 問21-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病院・病後児を他人に育ててもらうのは不安 2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよい
4. 利用料がかかる・高い 5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する 7. その他()

問21-5 問21-1で「3.～9.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば父親のいずれかが仕事を休んで養育したいと思われましたか。(どちらか1つに○)」
※「3.～9.」のうち仕事を休んで養育した日数を口内に数字でご記入ください。
(1年間でお考えください)

1. できれば仕事を休んで養育したい ⇒ 日 ⇒ 問22へ
2. 休んで養育することは非常に難しい ⇒ 問21-6へ

問21-6 問21-5で「2. 休んで養育することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないため休めない 4. その他()

13

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育や病気の療のため以外に、私用・親の滞院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)
※1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数(年間)	回数
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民等が子育て家庭等を預かる事業)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
4. 夜間看護等事業: トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
5. ベビーシッター	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
6. その他()	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
7. 利用していない	

⇒ 問23へ

問22-1 問22で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある 4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよい
5. 利用料がかかる・高い 6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるかどうか わからない 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他()

問23 宛名のお子さんについて、私用・親の滞院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思えますか。利用希望の有無・日数をお答えください。
(あてはまる番号・丸数字すべてに○)
※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料【利用料:500円～2,500円程度】がかかります。利用料は、利用する事業や時間によって異なります。

1. 利用したい	計
① 私用(賞物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の言い事等)、リフレッシュ目的	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の滞院等	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
③ 不定期の就労	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
④ その他()	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日

2. 利用する必要はない ⇒ 問24へ

14

問23-1 問23で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問23の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 大規模施設で子どもを預かる事業(例:幼稚園・保育所等)
2. 小規模施設で子どもを預かる事業(例:地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

問24 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを預けがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)
※それぞれの回数も口内に数字でご記入ください。

1年間の対応方法	回数
1. あった	
① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
③ 上記以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
④ 仕方なく子どもを同行させた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
⑤ 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
⑥ その他()	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
2. なかった	

問24-1 問24で「1. あった ① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
⇒ 「1. ①」以外を選択した方は、問25へ
その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難ではない

15

宛名のお子さんから5歳以上の方に、放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問29へ

問25 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後の）時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）
※それぞれ該当する適当な日数を口内に数字でご記入ください。「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に（例）午後6時→18時のように24時間制で数字をご記入ください。

「放課後児童クラブ」→地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が社労等により期間限定にいない場合などに、命の危険の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料（例納付金）がかかります。

- 1. 自宅 日くらい
- 2. 祖父母宅や友人・知人宅 日くらい
- 3. 塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 日くらい
- 4. 児童館 日くらい
- 5. 放課後子ども教室 日くらい
- 6. 放課後児童クラブ（学童保育） 日くらい → 下校時から 時台まで
- 7. ファミリー・サポート・センター 日くらい
- 8. その他（公民館、公園など） 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6」に回答
※2 「放課後子ども教室」→地域の状況に応じて、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する形態です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問26 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後の）時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）
※それぞれ該当する適当な日数を口内に数字でご記入ください。「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に（例）午後6時→18時のように24時間制で数字をご記入ください。

※1 先のようになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

- 1. 自宅 日くらい
- 2. 祖父母宅や友人・知人宅 日くらい
- 3. 塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 日くらい
- 4. 児童館 日くらい
- 5. 放課後子ども教室 日くらい
- 6. 放課後児童クラブ（学童保育） 日くらい → 下校時から 時台まで
- 7. ファミリー・サポート・センター 日くらい
- 8. その他（公民館、公園など） 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6」に回答

問27 問25または問26で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号すべてに○

※事業の利用には一定の利用料がかかります。
※北秋田市では、現在、月2,000円の利用料で平日と土曜日の利用が可能です。
※利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。（例）08時～18時のように24時間制でご記入ください。

- (1) 土曜日
- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 時台から 時台まで
 - 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 時台から 時台まで
 - 3. 利用する必要はない 時台から 時台まで

- (2) 日曜・祝日 ※現在、実施していません
- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 時台から 時台まで
 - 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 時台から 時台まで
 - 3. 利用する必要はない 時台から 時台まで

問28 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休学期間の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（あてはまる番号すべてに○）
※事業の利用には一定の利用料がかかります。
※北秋田市では、現在、月2,000円の利用料で平日と土曜日の利用が可能です。
※利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。（例）08時～18時のように24時間制でご記入ください。

- 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 時台から 時台まで
- 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 時台から 時台まで
- 3. 利用する必要はない 時台から 時台まで

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（母親、父親それぞれについて、あてはまる番号すべてに○）
※取得していない方はその理由を下記から番号を選んでご記入ください。

- | (1) 母親（いずれかに○） | (2) 父親（いずれかに○） |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 働いていなかった | 1. 働いていなかった |
| 2. 取得した（取得中である） | 2. 取得した（取得中である） |
| 3. 取得していない | 3. 取得していない |
| ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） | ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） |

- 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. （産後後に）仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7. 保育所（園）などに預けることができた
- 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10. 子育てや家事に専念するため退職した
- 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めなかった）
- 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件をみたさなかった
- 13. 育児休業を取得できることを知らず、退職した
- 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
- 15. その他 母親（ ）
- 父親（ ）

問29-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み₁と、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み₂があります。そのことをご存じでしたか。（あてはまる番号すべてに○）

- 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2. 育児休業給付のみ知っていた
- 3. 保険料免除のみ知っていた
- 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

※1 産前所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月
※2 法定の育児休業及び企業法が定む上回る期間取った育児休業に準ずる措置

問29で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。⇒ 該当しない方は、問30へ

問29-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（あてはまる番号すべてに○）

- (1) 母親
- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
 - 2. 現在も育児休業中である
 - 3. 育児休業中に離職した
- (2) 父親
- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
 - 2. 現在も育児休業中である
 - 3. 育児休業中に離職した

問29-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問29-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（どちらか一つに○）
※年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。
※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」と回答してください。

- (1) 母親
- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
 - 2. それ以外だった
- (2) 父親
- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
 - 2. それ以外だった

問29-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りましたか。（口内に数字でご記入ください。）

- (1) 母親
- 実際の取得期間 歳 ヶ月 希望 歳 ヶ月
- (2) 父親
- 実際の取得期間 歳 ヶ月 希望 歳 ヶ月

問29-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休業を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りましたか。（口内に数字でご記入ください。）

- (1) 母親 歳 ヶ月
- (2) 父親 歳 ヶ月

(2)-1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。
 ※就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週当たり 日 1日当たり 時間台

(2)-2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 家を出る時間と帰宅時間を、口内に数字でご記入ください。
 ※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 ※時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 時台 帰宅時間 時台

問9 問7の(1)または(2)で「3.～4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。⇒該当しない方は、問9へ

フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問9 問7の(1)または(2)で「5.」以前は就労していたが、現在は就労していない。または「6.」これまで就労したことがないに○をつけた方にうかがいます。⇒該当しない方は、問10へ

就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)
 ※該当する口内に数字をご記入ください。

(1) 母親

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
- すぐでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 ② パートタイム・アルバイト等(①以外)
 →1 週当たり 日 1日当たり 時間台

(2) 父親

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
- すぐでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 ② パートタイム・アルバイト等(①以外)
 →1 週当たり 日 1日当たり 時間台

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんが小学校1～3年生の方にうかがいます。⇒小学校4～6年生の方は、問11へ

放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思えますか。
 (あてはまる番号すべてに○)
 ※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に(例)午後6時～18時のように24時間制で数字をご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学費や入会費など異なります。保護者が就労等により最寄家庭に近い場合と、最寄の下、子どもが生活の確保を希望するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料(利用料:月2,000円)がかかります。

- 自宅 日くらい
- 祖父母宅や友人・知人宅 日くらい
- 塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 日くらい
- 児童館 日くらい
- 放課後子ども教室 日くらい
- 放課後児童クラブ(学童保育) 日くらい →下校時から 時台まで
- ファミリー・サポート・センター 日くらい
- その他(公民館、公館など) 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6.」に回答
 ※2 「放課後子ども教室」…地域の力の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問11 すべての方(お子さんが小学校1～3年生の方も含む)にうかがいます。
 小学校4～6年生の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思えますか。(あてはまる番号すべてに○)
 ※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に(例)午後6時～18時のように24時間制で数字をご記入ください。

※小学校1～3年生の方は、たいひ先のことになります。現在お持ちのイメージでお答えください。

- 自宅 日くらい
- 祖父母宅や友人・知人宅 日くらい
- 塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 日くらい
- 児童館 日くらい
- 放課後子ども教室 日くらい
- 放課後児童クラブ(学童保育) 日くらい →下校時から 時台まで
- ファミリー・サポート・センター 日くらい
- その他(公民館、公館など) 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6.」に回答

問12 問10または問11で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。
 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
 (1)(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○

※事業の利用には一定の利用料がかかります。
 ※北秋田市では、現在、月2,000円の利用料で平日と土曜日の利用が可能です。
 ※利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

- 低学年(1～3年生)の間は利用したい
- 高学年(4～6年生)になっても利用したい
- 利用する必要はない

→ 利用したい時間帯 時台から 時台まで

(2) 日曜・祝日

- 低学年(1～3年生)の間は利用したい
- 高学年(4～6年生)になっても利用したい
- 利用する必要はない

→ 利用したい時間帯 時台から 時台まで

問13 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期間の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)
 ※事業の利用には一定の利用料がかかります。
 ※北秋田市では、現在、月2,000円の利用料で平日と土曜日の利用が可能です。
 ※利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

- 低学年(1～3年生)の間は利用したい
- 高学年(4～6年生)になっても利用したい
- 利用する必要はない

→ 利用したい時間帯 時台から 時台まで

問14 北秋田市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。
 (あてはまる番号1つに○)

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問15 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
 同封の封筒(切手は貼らず)に入れ、11月28日までに
 お子さんの通う小学校へお届けください。

■ 出産を控えた方へ

出産を控えた方へ

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、宛名のご本人がご記入ください。
- 回答方法は、選択肢に○をつけていただくものと、数字などを記入していただくものがあります。
- 設問によって「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定しています。指定の範囲内でご回答ください。
また、「その他」をお選びいただいた場合は、() 内に具体的な内容をお書きください。
- 数字をご記入いただく場合は、口枠ひとつにつき1文字をお書きください。
- 設問によっては、「問〇で「△△△」に○をつけた方」のように、前の設問の回答によって記入していただく方を指定している場合があります。よくお読みになってご回答ください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、11月28日(木)までに郵便ポストへご投函ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

北秋田市役所福祉課 こども福祉係 電話 62-6638

回答するに当たってお読みください

北秋田市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づき、新たな子ども・子育て支援の制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。)の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一括とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとしています。(平成27年度から実施予定)

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」の算出するために、北秋田市が独自に、現在妊婦されている方を対象にして、皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」把握を行うためのものです。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることを目指しています。

※アンケートの結果については、本年度末までに市のホームページで公表する予定です。

1

お住まいの地域についてうかがいます。

- 問1 お住まいの地区はどこですか。(あてはまる番号1つに○)
※里帰りされている方は、本来お住まいになっている地区に○をつけてください。
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 鹿東地区 | 2. 合川地区 | 3. 森吉地区 | 4. 阿仁地区 |
|---------|---------|---------|---------|

出産についてうかがいます。

- 問2 出産予定年月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください)
※数字は一律に一字。
平成 □ □ 年 □ □ 月 生まれ
- 問3 何人目のお子さんですか。(あてはまる番号1つに○)
- | | | |
|------------|--------|----------|
| 1. 初めての子ども | 2. 2人目 | 3. 3人目以降 |
|------------|--------|----------|
- 問4 問3で「1. 初めての子ども」に○をつけた方にうかがいます。出産・育児について不安に思うことや知りたいことはありますか。(あてはまる番号1つに○)
- | |
|---------------|
| 1. ある(具体的に:) |
| 2. 特になし |
- 問4-1 問4で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。不安などを相談する相手はいますか。また、それはどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)
※「1。」に○をつけた場合は相談相手をお答えください。(あてはまる丸数字すべてに○)
1. 相談相手がいる
- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 一相談相手 | (① 同居の家族・親族 ② 別居の家族・親族) |
| | (③ 友人・知人 ④ 医師・看護師) |
| | (⑤ 市役所・保健センター ⑥ その他()) |
2. 相談する相手はいない
- 問5 すべての方に伺います。妊婦中・出産・育児についての知識を、主にどこから得ていますか。(あてはまる番号1つに○)
- | | | |
|-------------|---------------|-----------|
| 1. 同居の家族・親族 | 2. 別居の家族・親族 | 3. 友人・知人 |
| 4. 医師・看護師 | 5. 市役所・保健センター | 6. 雑誌 |
| 7. インターネット | 8. テレビ番組 | 9. その他() |

2

お仕事と育児についてうかがいます。

- 問6 妊娠する前に仕事をされていませんか。(あてはまる番号1つに○)
- | | |
|------------|----------------|
| 1. 仕事をしていた | 2. 仕事をしていたなかった |
|------------|----------------|
- 問7 問6で「1. 仕事をしていた」に○をつけた方にうかがいます。現在の状況をお答えください。(あてはまる番号1つに○)
- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 産休中 | 2. 出産がまだ先なので仕事を続けている |
| 3. 自営業で休めないで仕事を続けている | 4. 出産のため退職した |
- 問8 問6で「2. 仕事をしていたなかった」または、問7で「4. 出産のため退職した」に○をつけた方にうかがいます。出産後に仕事をしたいと思えますか。(あてはまる番号1つに○)
- | |
|-------------------------------|
| 1. すぐにも仕事をしたいと思っている |
| 2. ある程度の期間育児をした後で仕事をしたいと思っている |
| 3. 今はしたいと思わないが必要があれば仕事をしたい |
| 4. 仕事をしたいとは思わない |
- 問9 出産・育児後に仕事をしたいと思っていられる方すべてにうかがいます。仕事の際、お子さんをどこかに預ける必要がありますか。(あてはまる番号1つに○)
- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1. 預ける必要がある | 2. 自宅で家族が面倒をみるため、預ける必要はない |
|-------------|---------------------------|

3



問10 問9で「1. 預ける必要がある」に○をつけた方にかがいます。お子さんを預けたいところ、またはお子さんの教育・保育のために利用したい事業はどれですか。(あてはまる番号1つに○)
※ご自分のお住まいの近くにこれらがある・なしに関わらずお選びください。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める基準に適合し、都道府県の認可を受けた、定員20人以上のもの)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育所の機能を併せ持つもの)
5. 小規模保育施設 (国の基準に適合し、市町村の認可を受けた、定員6～19人の施設)
6. 家庭的保育 (保育をする人の自宅などで少人数を保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する保育施設)
8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外保育施設 (託児所など)
10. 別居している家族・親族
11. 友人・知人
12. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターなど、子どもの家庭に訪問して保育する事業)
13. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
14. その他 ()

問10-1 問10の事業を利用したい場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|-------|
| 1. 北秋田市内 | 2. 市外 |
|----------|-------|

問11 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
同封の封筒に入れ、11月28日(木)までに
郵便ポストへご投函ください。

北秋田市子ども・子育て支援ニーズ調査結果報告書

発行日 平成 26 年 3 月
発行元 北秋田市健康福祉部福祉課子ども福祉係
住 所 秋田県北秋田市花園町 19 番 1 号 〒018-3392
連絡先 TEL 0186-62-6638 (直通) FAX 0186-62-4296
<http://www.city.kitaakita.akita.jp/>